



学校教育目標 「自ら行動、達成して感動」

校訓 「自主・自律・連帯・創造」 R5. 8. 9発行 文責 校長 松崎大樹

長崎に原爆が投下されてから78年目の夏 8月9日は、「県民祈りの日」
この長崎県に生まれた私たちが、「平和」についてしっかり考えるための大切な一日です。

8月9日「県民祈りの日」に向けた校長講話

1945年8月9日、午前11時2分、米軍機であるB29「ボックスカー」が投下した一発の原子爆弾「ファットマン」が、長崎市松山町の上空約500mでさく裂しました。目くらむ一瞬の閃光。摂氏100万度を超える火の玉から、長崎の街に強烈な放射線と熱線、そして猛烈な爆風が襲いかかりました。立ち昇ったキノコ雲の下で何の罪もない多くの命が奪われ、町は一瞬にして破壊されました。

このように、戦争末期の1945年8月6日に広島、そして、9日には長崎に、世界で初めて原子爆弾が投下され、広島では約14万人、長崎では約7万5千人が亡くなりました。

そして、本日、講演をお願いしていた「松原の救護列車を伝える会」の皆様からは、長崎原爆が投下された日の夜、瀕死の被爆者が長崎から救護列車で郡中学校の松原に運ばれてきて、衛生兵や地域住民の方が協力しながら一生懸命に治療に取り組みされた事実を伝えていただく予定でした。しかし、台風6号接近のため、残念ながら講演を実施できなくなりました。生徒の皆さんにも大変申し訳なく思っていますが、できるだけ早い時期に再講演をお願いし、78年前に投下された長崎の原子爆弾は、私達が生まれ育ったこの郡中学校区とも決して無縁ではなく、深く関係していたことをしっかり学ばせていただける日が来ることを楽しみにしたいと思います。「松原の救護列車を伝える会」の皆様、その際には、どうぞご協力のほど、よろしくお願いします。

私たちは、この戦争の痛みと悲しみを理解し、平和の大切さを共有するために本日の平和祈念集会を生徒共に開催する予定でしたが、それもできなくなりました。しかし、長崎が被爆してから78年が経ちましたが、この出来事は私たちにとって忘れてはならない重要な教訓です。

そして、今、この瞬間にも、ロシアによるウクライナ侵攻においては、ウクライナ人、そして、ロシア人の尊い命がたくさん失われています。さらに、現在進行しているウクライナの反転攻勢が成功するような状況になれば、ロシアは核兵器の使用も辞さないと言っています。世界に脅しをかけており、とても危険な状況にあると思います。

実際に戦争や被爆体験をされた方から「本当の平和の尊さ・大切さは、実際に平和をなくした者でしかわからない。」という言葉がいたいたことがあります。実に重みのある言葉ですし、本当にそうなのかもしれません。そして、戦後78年が経った今、日本の戦争や被爆体験者が誰もいない時代をもうすぐ迎えようとしています。

だからこそ、実際に戦争を体験したことのない私たちが、改めて、平和学習やこの平和祈念集会を通して、その戦争の非人間性、そして、その残酷さをしっかりと学ぶ中で、平和を願って私達にできることを真剣に考え、実行し、現在の平和を守り続けなければならないと考えます。平和とは、自然と笑顔になれること。平和とは、人も自分も幸せであること。平和とは、夢や希望がもてる未来があること。

しかし、平和とは永遠に続くものではありません。だから、平和とは、様々な対立や意見の相違を乗り越え、みんなで築き、守り続けていくものだと考えます。

皆さんは、間違いなく、これからの時代を生き、これからの日本、これからのグローバルな社会を作り上げていく大切な人材です。

そして、8月9日は、この長崎県に生まれた私たちが、「平和」についてしっかり考えるための大切な一日です。

生徒のみなさん一人一人の「平和」を思う気持ちは、決して無力ではないこと。

そして、この世界を「平和」に導く光となることを固く信じながら、8月9日における校長講話とさせていただきます。

令和5年8月9日

大村市立郡中学校 校長 松崎大樹



※写真は左から①長崎原爆キノコ雲 ②被爆した浦上天主堂 ③山王神社片足鳥居 ④11時2分で止まった時計 ⑤山里国民学校

【平和祈念集会式次第】

- 1 はじめの言葉 (人権・平和副委員長)
- 2 校長先生の話
- 3 「松原の救護列車を伝える会」による朗読劇
- 4 1年生平和学習発表
- 5 2年生平和学習発表
- 6 郡中学校平和宣言発表
- 7 黙祷
- 8 終わりの言葉

※本日予定されていた祈念記念集会の内容でした。

令和5年度「郡中学校平和宣言」(抜粋)

私たちの郡中学校では、毎年8月9日は、原爆で亡くなられた方々の慰霊と戦争の悲惨さ、そして、平和の尊さを学ぶ日として、平和祈念集会を行っています。今日、あらためて生徒全員でその意義を考え、私たちがやるべきことは何かを考える日にしていきましょう。

郡中の全員が、平和で、笑顔で過ごすことができるために、まずは、自分と目の前の相手を大切にしていきたいと思います。自分を大切にすることで相手のことも大切にでき、それが、人権を守ることに繋がります。次に、それぞれの個性を認め合いながら、行動していきましょう。個性を輝かせ、相手のことを考えてこそ、人権意識の向上につながります。

このことを忘れず、一人一人が平和を目指す心を大切に、郡中学校平和宣言とします。

令和5年8月9日

大村市立郡中学校生徒一同



8月9日は、長崎県の「県民祈りの日」です。78年前の原爆投下について、その事実をしっかりと受け止める中で、これからの時代を生きる人類の一人として、「平和」について真剣に考え、その実現に向けて力を発揮できる人になってほしいと思っています。
校長より

令和5年度 長崎県中学校総合体育大会終了!

吹奏楽部 第68回長崎県吹奏楽コンクール県大会 最優秀賞受賞!

祝 九州大会出場権獲得 (開催地 沖縄県)

陸上競技 女子共通1500m第2位 女子2年800m第1位 2年 中村心美さん→台風6号の影響で大会中止

卓球競技 女子個人 第4位 1年 加藤鈴菜さん→台風6号の影響で短縮開催

祝 第68回九州吹奏楽コンクール大会出場 (会場: 熊本県立劇場)

郡中吹奏楽部

7月22日(土)~24日(月)にかけて、令和5年度 長崎県中学校総合体育大会が県内各地の大会会場で開催され、熱い熱い戦いが繰り広げられました。本校からも大村市中総体を勝ち抜いた74名の選手達が出場し、真剣な眼差し、チーム一丸となったプレーで、手に汗握る白熱した試合をたくさん展開してくれました。選手の皆さん、大きな感動をありがとうございました! そして、さらに、九州大会出場権を獲得した2年中村心美さん、1年加藤鈴菜さん、本当におめでとうございます。台風6号の沖縄県接近で、辛い思いをたくさんしたことと思いますが、これまでの頑張り、そして今の実力に誇りを持って、これから力強く活躍してくれることと思います。更なる飛躍を期待しています。

また、郡中吹奏楽部は、7月30日(日)諫早文化会館で開催された第68回長崎県吹奏楽コンクール県央大会で金賞を受賞し、8月6日(日)に長崎ブリックホールで開催された第68回長崎県吹奏楽コンクール県大会に出場することができました。心一つにして奏でるメロディはとても素晴らしく、会場を埋め尽くした多くの聴衆の皆さんに大きな感動を届けていました。審査の結果、見事、最優秀賞に輝き、8月26日(土)熊本県立劇場で開催される第68回九州吹奏楽コンクールに長崎県代表として出場が決定しました。心より祝福したいと思います。吹奏楽部の暑い夏はまだまだ続きますが、九州大会でも素晴らしい演奏を届けて下さい!

もうすぐ2学期がスタートします!

もう一度、生徒代表の「1学期の振り返り」に耳を傾け、 2学期の新たな飛躍につなげていきましょう! (抜粋して掲載しています。)

3年生生徒代表 辻本 雅人

3年生に進級してすぐに、中学校生活の中でも一大イベントである体育大会が行われました。新たなクラスメイトと、学年競技である「ムカデ競走」や、なかなか上手いかわかない学級創作ダンスを成功させよう、何度も話し合いながら切磋琢磨しました。その結果、みんなが笑顔で終えることができた最高の体育大会となり、一生の思い出を作ることができました。けれども、改めて実感したことが、これで郡中生として臨む体育大会は最後なんだということでした。私が入学して間もない中学1年生だったときの体育大会というのは、一人一人がキラキラ輝いて見える、心躍る行事でした。そんな思いで参加した体育大会は、自分の手で友人や先輩方と体育大会を作っていくことが、とても嬉しくてたまりませんでした。あのときから、もう約2年以上も時が過ぎていたことや、今までまだまだ先だと思っていた高校受験もいつの間にかあと半年と迫ってきていることに、時の速さをしみじみと実感し、焦ると共に過ぎゆくときの速さに驚きすら感じています。2学期に行われる合唱コンクールや市内音楽会などの行事や活動の多くは、当たり前ですが私達3年生にとって最後になります。体育大会もそうでしたが、もう二度と郡中生として臨むことはできません。「最後」という言葉はネガティブに捉えがちになってしまいますが、私はそうではなく、最後なんだからこそ、今までの出来をはるかに超越した最高傑作を3年生、郡中全体で作っていきたいと思っています。みなさんも是非ともに心に残る「誇れる歴史」を2学期も刻んでいきましょう。

2年生生徒代表 アラサキンジュ 泰聖

1学期を終えて僕はたくさん学ぶことができました。その中で、良かったことと改善したいことがありました。良かったことは、挨拶を意識したことです。挨拶は重要なことで、人の第一印象は挨拶が決まるといほど重要なものです。その為、去年の経験を生かして、人の顔を見て挨拶するの意識したり、丁寧に挨拶をしたりなど、気持ちを込めながら取り組むことができました。その結果、自然に地域の人や友達に挨拶する機会が増えました。しかし、良かったことの反面、改善したいことがありました。それは勉強です。今回の期末テストでは、計画通りに勉強した日が少なく、思うようにいかず、悔しい結果となりました。その為自ら自主学習をしたり、時間を決めて勉強をしたりして、実力テストに挑んでいきたいです。

1年生生徒代表 種本 愛依来

みなさんは、1学期をどのように過ごしましたか。入学してからあっという間の4ヶ月でしたが、自身のことと学年のことと振り返ってみたいと思います。私は、1学期、自主学習に多く取り組みました。中学生になって初めて受けた期末テストでは、5教科の平均85点以上を取るという目標を達成することができました。また、毎日たくさんの人に自分から挨拶することを心がけました。違う小学校の出身の人ともコミュニケーションを取ることができ、新しい友達もできました。

次に、学年全体の振り返りを「Hop Step Jump!~挑戦・信頼・自立~」という学年目標をもとに振り返ってみると

【挑戦】では、体育大会で各学級、学年で一致団結し、ダンスのがらちうや学年種目の長縄跳びに全力で取り組むことができました。

【信頼】では、仲が良いからと言って、相手が嫌がる発言をしたり、周りが見えずに他の人の迷惑になってしまう行為を取ったりしてしまうことがありました。もう一度自分の行動を見直し、信頼されるような発言や行動ができるように声をかけ合っていきたいです。

【自立】では、2分前着席1分間黙想、掃除、トイレのスリッパ並べなど、先生がいないときに、正しい判断ができずに、課題が残りました。2学期からは、自分たちで正しい判断・行動ができるようにしていきます。

夏休みに、しっかりと学習や部活動に励み、自分を高め、2学期につなげていきたいと思っています。

生徒会代表 村川 瑞季

みなさん、こんにちは。生徒会書記の村川瑞季です。いよいよ明日から夏休みが始まります。この1学期はみなさんにとってどのような学期でしたか? 1年生のみなさんは、中学校に入学し、慣れないことばかりだったと思いますが、日々の生活や行事を通してクラスがまとまり、絆も深まったのではないのでしょうか。2年生のみなさんは、新1年生が入学したことで先輩としての自覚が深まり、部活動や委員会などの様々な面で活躍できたのではないのでしょうか。3年生のみなさんは、最高学年としていろいろな行事で1・2年生を引っ張ってくださり、学校のリーダーとしての姿を見せてくださいました。

このようにこの1学期は様々な行事があり、歓迎遠足では、2・3年生で新1年生を迎えることができ、体育大会では全学年が一致団結し、チームとして輝くことができました。そして、6月にあった生徒総会では、一人一人が話し合いに意欲的に参加し、郡中BRANDを決定することができました。みなさん、ご協力ありがとうございました。これからも郡中生一丸となって学校を更に良くしていけるようにチーム都で頑張りましょう。

さて、明日からは夏休みが始まります。2学期では、職場体験や修学旅行等の様々な行事が予定されています。この2学期に備えて、夏休みではいろいろなことにチャレンジしたり、何かを真剣に取り組んだりして、充実した夏休みを過ごしましょう。